

整理番号	HT26123	分野	生物	(キーワード)光合成、蛍光、電子伝達
------	---------	----	----	--------------------

独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構
植物の光合成明反応（電子伝達）を測ってみよう

先生(代表者)	鈴木健策(すずきけんさく)東北農業研究センター・上席研究員			
自己紹介	光合成や光呼吸に関連した代謝調節や環境応答の研究に携わって40年近くになります。長いこと農業研究の場にはありますが、実験室、人工気象室、温室での研究がほとんどでした。しかし野外が嫌いなわけではありません。実は高山植物をはじめとした野生動植物が大好きですし、山登りやスキーも大好きです。高校時代はワンダーフォーゲル部で(冬山も含めて)月に一度は山に登っていましたし、そのせいか長距離走も得意でした。			
開催日時・主な募集対象	平成26年9月20日(土)	(対象)	高校生	(人数) 20名
集合場所・時間	農研機構東北農業研究センター 研究 H 棟	(集合時間)	9:30	
開催会場(集合場所)	農研機構東北農業研究センター 住所: 〒020-0198 岩手県盛岡市下厨川字赤平4 アクセスマップ: http://www.naro.affrc.go.jp/tarc/introduction/access.html#1			
内 容				
食料生産のおおもとは植物の光合成。それは農業のカギとなる重要な現象です。学校では「光合成の明反応」とか「光化学系ⅡやⅠの電子伝達」を学習したと思います。こうした現象が活発に起きているかどうかは、クロロフィル(葉緑素)が放つ光の変化を観察することで、実際に測定することができます。つまり、こうした測定により植物が受けているストレスを診断できます。さあ、いろいろな環境で光合成を測定してみましょう。				
スケジュール			持 ち 物	
9:30-10:00	受付(東北農業研究センター 研究 H 棟 1 階ロビー)			筆記用具 お弁当(昼食) デジタルカメラ(実習の写真 を撮りたい方のみ)
10:00-10:20	開講式(あいさつ、オリエンテーション、科研費の説明)			
10:20-11:00	講義(光合成のしくみと明反応)			
11:00-11:10	休憩			
11:10-11:40	実習(Dual-PAM の装置の説明、測定の実演、午後の実習の材料選びと準備)			
11:40-12:00	講義(Dual-PAM の操作・測定法を解説)			
12:00-13:00	昼食			
13:00-15:00	実習(Dual-PAM を用いた明反応の測定。			
15:00-15:30	クッキータイム(軽食、お茶)、実施者との交流			
15:30-16:30	議論、まとめ、アンケート記入			
16:30-17:00	修了式(講評、未来博士号授与、記念撮影)			特 記 事 項
17:00	解散			

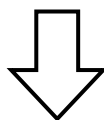


《お問い合わせ・お申し込み先》

所属・氏名：	東北農業研究センター 企画管理部情報広報課
住所：	〒020-0198 岩手県盛岡市下厨川字赤平 4
TEL 番号：	019-643-3414
FAX 番号：	019-643-3588
E-mail：	www-tohoku@naro.affrc.go.jp
申込締切日：	平成26年8月20日(水)

《プログラムのテーマと関係する科研費》

研究代表者	研究期間	研究種目	課題番号	研究課題名
鈴木健策	2009-2011	基盤研究(B)	21380051	高地温が助長するイネ幼苗の低温障害の発生機構の解明



★この科研費について、さらに詳しく知りたい方は、下記をクリック！

<http://kaken.nii.ac.jp/>

※国立情報学研究所の科研費データベースへリンクします。